

2023年3月期

第2四半期 **決算説明会**

1. 2023年3月期 第2Q決算概要
2. 2023年3月期 通期業績予想
3. 2023年3月期 事業活動
4. 中期経営計画の進捗

1. 2023年3月期 第2Q決算概要
2. 2023年3月期 通期業績予想
3. 2023年3月期 事業活動
4. 中期経営計画の進捗

日本が経済大国への道をひた走りはじめた1959年、キクスイは誕生しました。

産業界全体が大量生産に沸きあがり、高度経済成長を続ける中、私たちが企業理念に掲げたのは、人や社会、更には地球環境にとって何が大切かの追求でした。そして、「人と自然と共に」をスローガンに、つねに新たなテーマへの挑戦を続け、グローバルな視野に基づいた社会貢献でした。以来、この思想は、高品質で高機能、かつ環境への安全性を十分に誇れる数々の建築仕上塗材を生み、同時に環境共生企業として社会に貢献するキクスイの存在を確かなものとしています。

今、キクスイが目指すのはONLY ONEなる技術。揺るぎない企業理念をベースに、改修市場への取り組みを強化する中での下地材への展開、建築内外装仕上塗材の拡充など、事業領域を拡げながら、お客様との共栄を図ります。

## 《 社是 》

みんなのために

よりよい商品

ゆたかな愛情

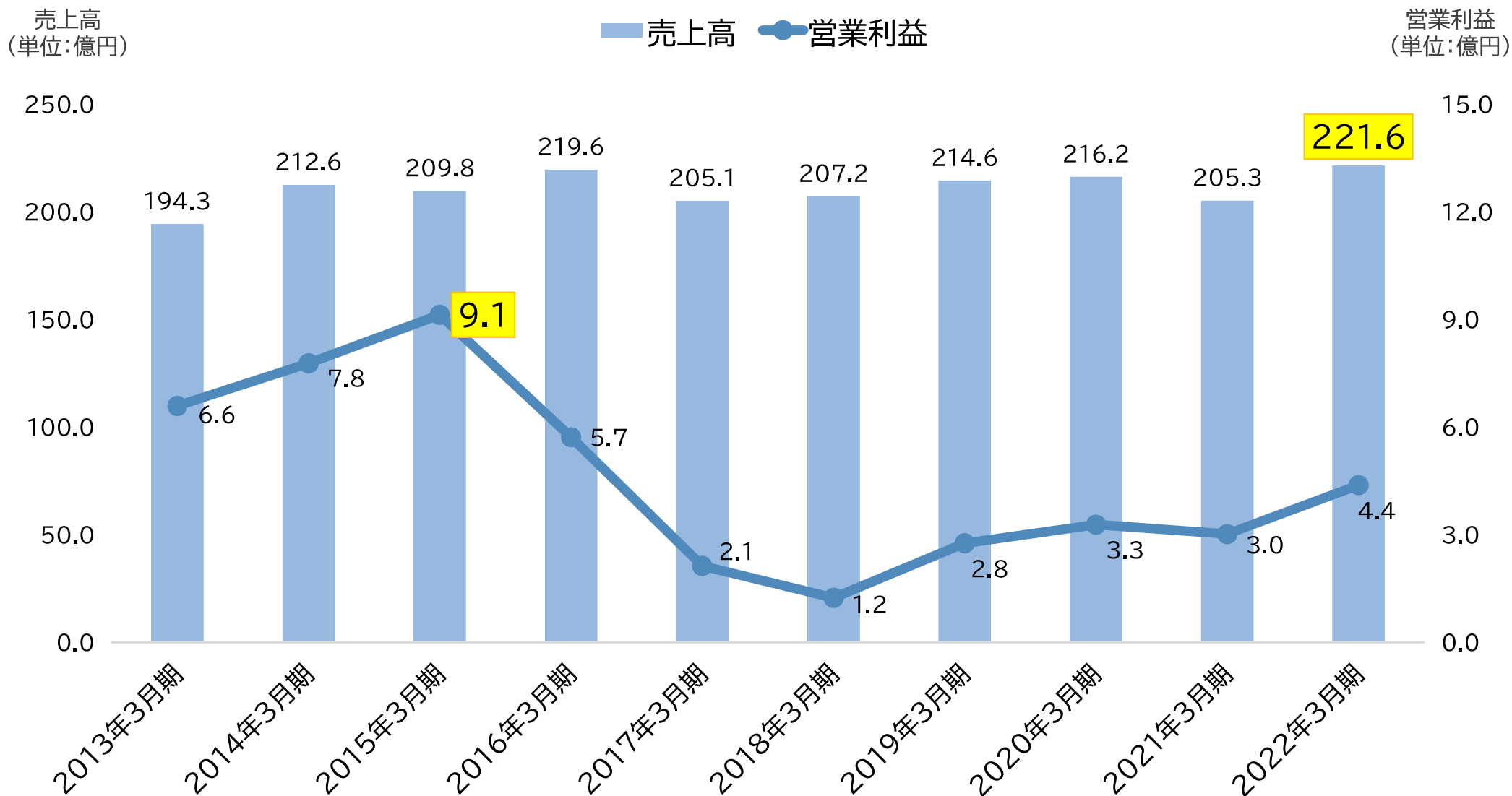
## 《 基本方針 》

1. われわれの力でやり遂げよう
2. 科学性を高めよう
3. 利益をより多く求めよう
4. 創造性を高めよう
5. コストダウンを押し進めよう
6. レベルアップしよう

# 年度別 連結業績の推移 [過去10年]

➤ 連結売上高の過去最高 ⇒ 2022年3月期 / 221.6億円

➤ 連結営業利益の過去最高 ⇒ 2015年3月期 / 9.1億円



- 2022年4月1日付け、完全子会社である日本スタッコ株式会社を吸収合併したことで、経営資源の集約、製造基盤の強化と製品競争力の向上を図る。
- 新型コロナウイルス感染症(第7波)の影響も少なく、改修市場を中心に回復傾向で推移し増収増益。
- ロシア・ウクライナ問題の長期化、原材料・燃料費の高騰などの影響により、売上原価の増加が第2Qより現実化。(第1Q比0.8%増)

連結売上高

**11,006**  
百万円

( 期首予想比  
102.0% )

連結営業利益

**257**  
百万円

( 期首予想比  
100.0% )

連結経常利益

**328**  
百万円

( 期首予想比  
117.2% )

連結当期純利益

**188**  
百万円

( 期首予想比  
103.3% )

(単位:百万円)	2022年3月期	2023年3月期	増減率
	第2Q実績	第2Q実績	
売上高	10,669	11,006	3.1%増
営業利益	223	257	15.0%増
売上比	2.1%	2.3%	
経常利益	280	328	17.0%増
売上比	2.6%	3.0%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	171	188	10.2%増
売上比	1.6%	1.7%	

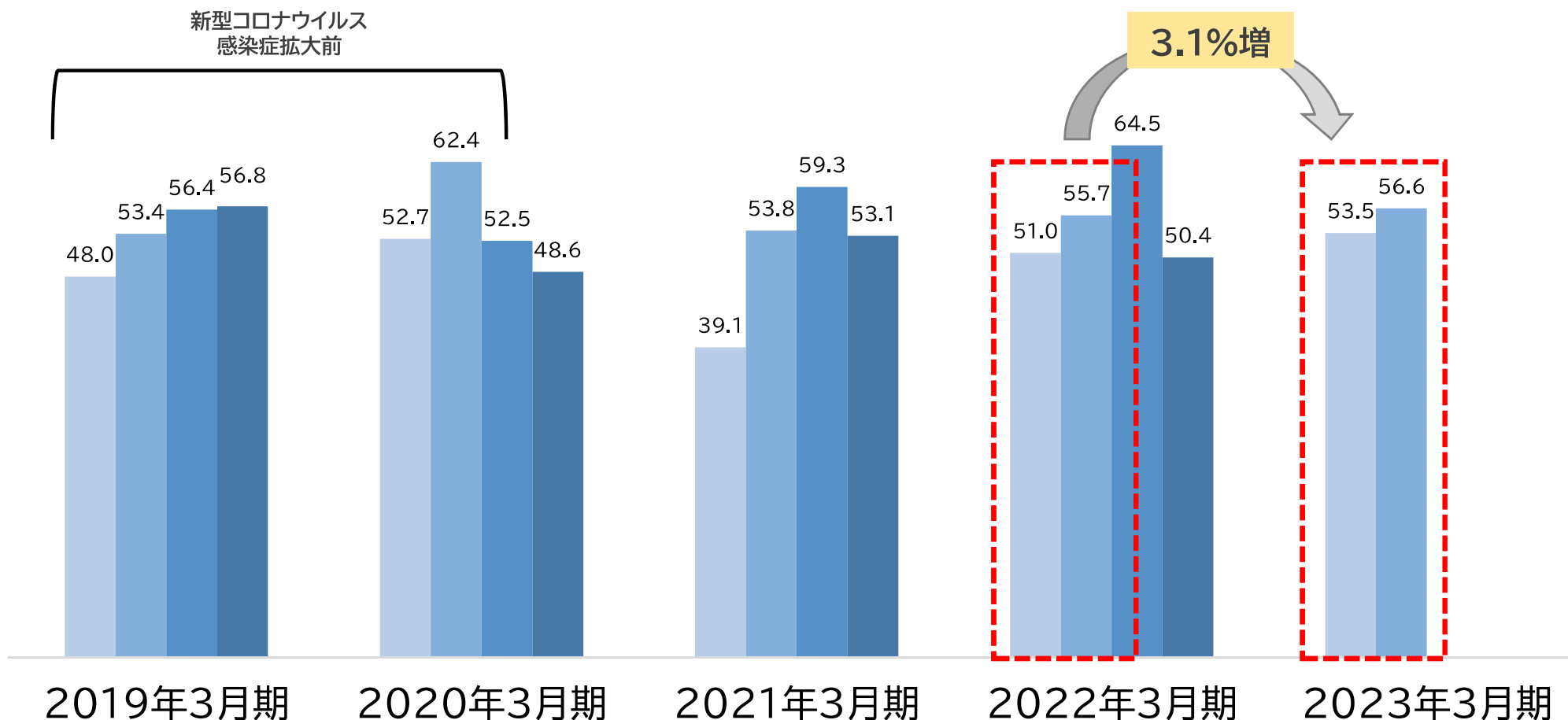
※百万円未満切捨

➤ 2023年3月期第2Qは、改修市場のニーズにマッチした高付加価値製品の拡販、及び施工を伴う完成塗膜の提供に努め前年同期比3.1%の増収。

(単位:億円)

## < 連結売上高 >

■ 第1Q ■ 第2Q ■ 第3Q ■ 第4Q

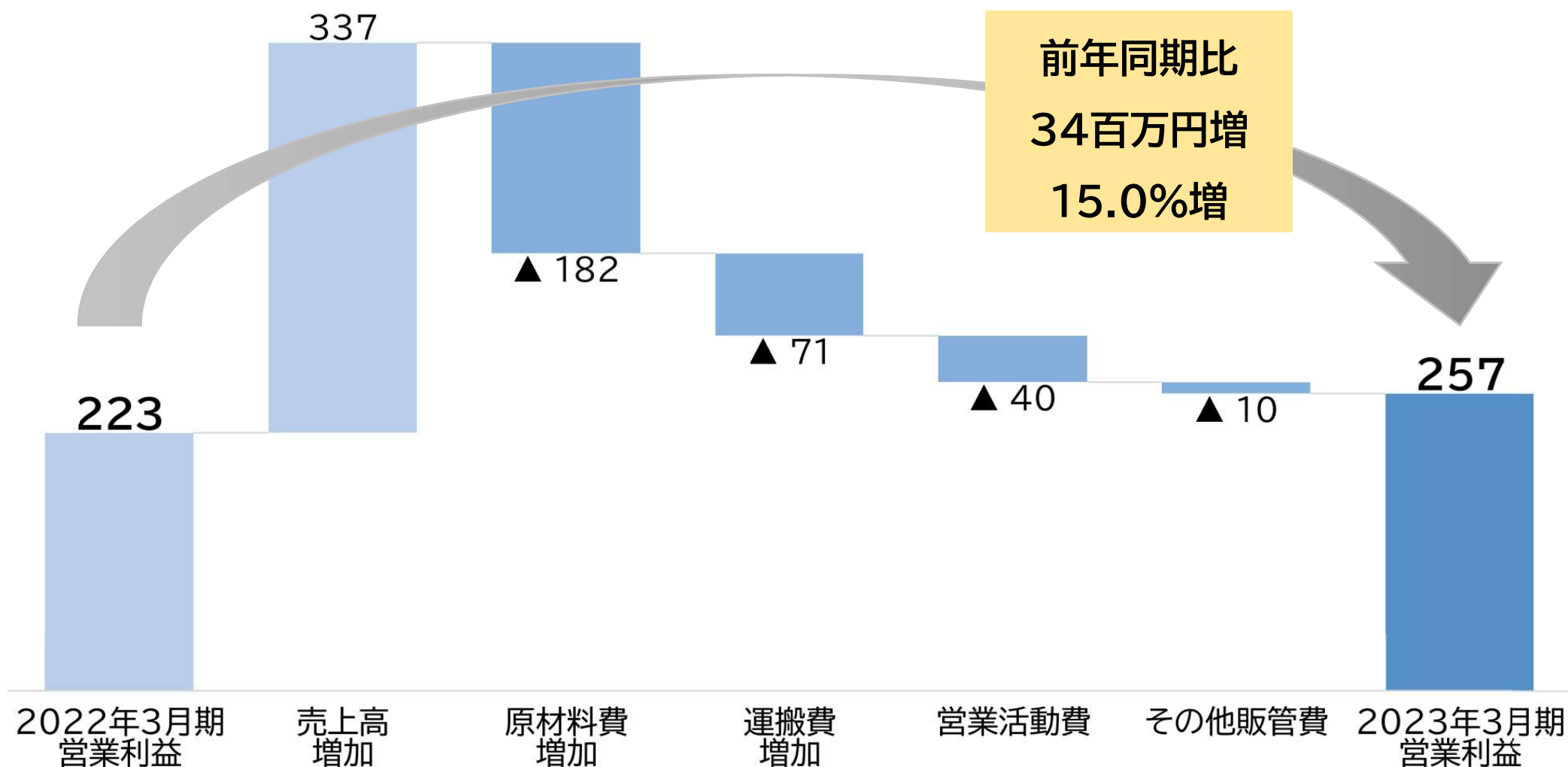




➤ 2023年3月期第2Qは、原材料費・運送費高騰などの影響を受け、売上原価が増加しましたが、販売価格への転嫁、及び経費削減に努め増収。

(単位:百万円)

## <連結営業利益>



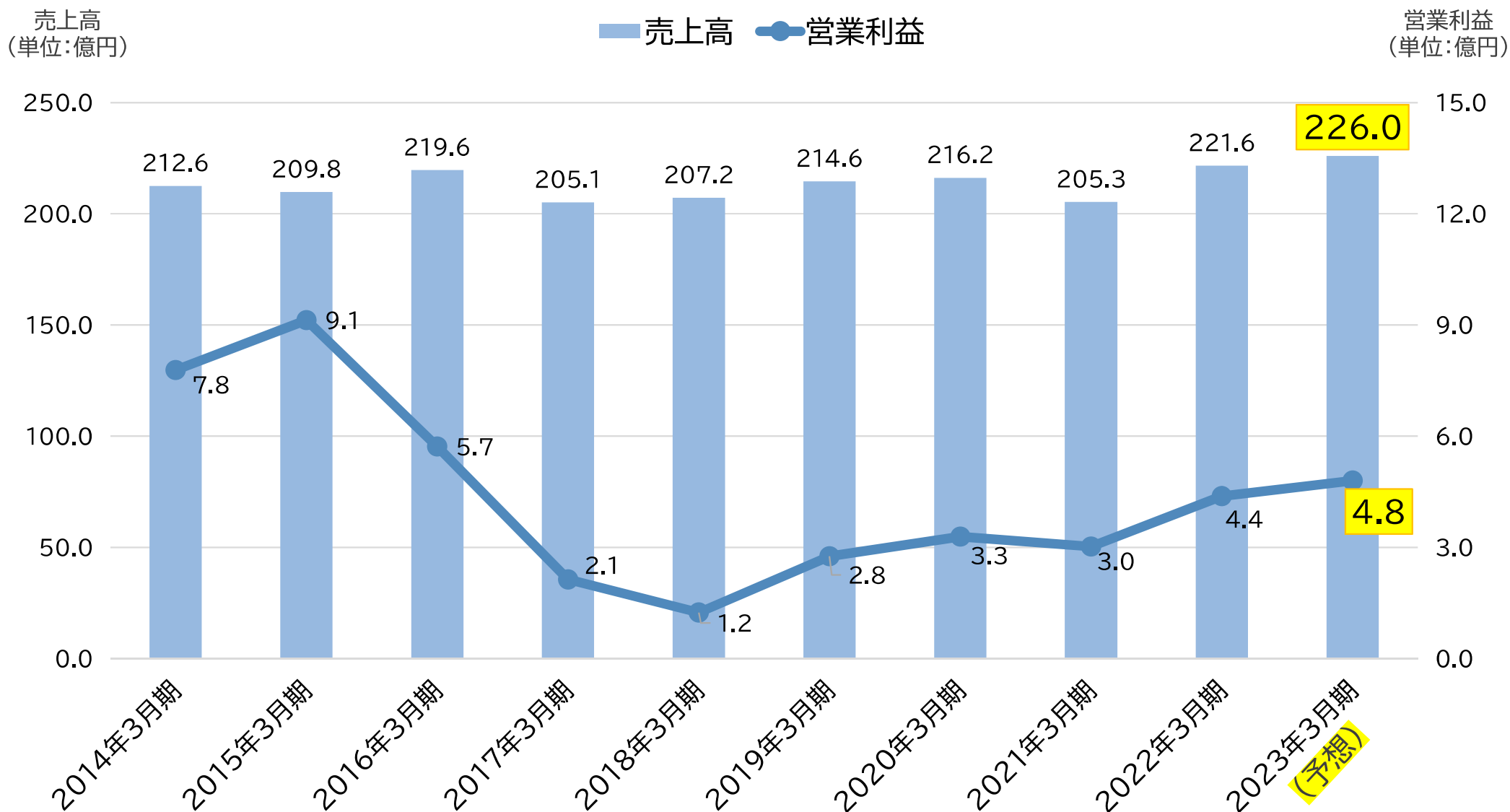
1. 2023年3月期 第2Q決算概要
- 2. 2023年3月期 通期業績予想**
3. 2023年3月期 事業活動
4. 中期経営計画の進捗

(単位:百万円)	2022年3月期	2023年3月期	増減率
	通期実績	通期予想	
売上高	22,160	22,600	2.0%増
営業利益	438	480	9.3%増
売上比	2.0%	2.1%	
経常利益	534	514	3.8%減
売上比	2.4%	2.3%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	94	258	172.8%増
売上比	0.4%	1.1%	

※百万円未満切捨

➤ 2023年3月期／連結売上高 ⇒ 226.0億円 ※過去最高を予想

➤ 2023年3月期／連結営業利益 ⇒ 4.8億円

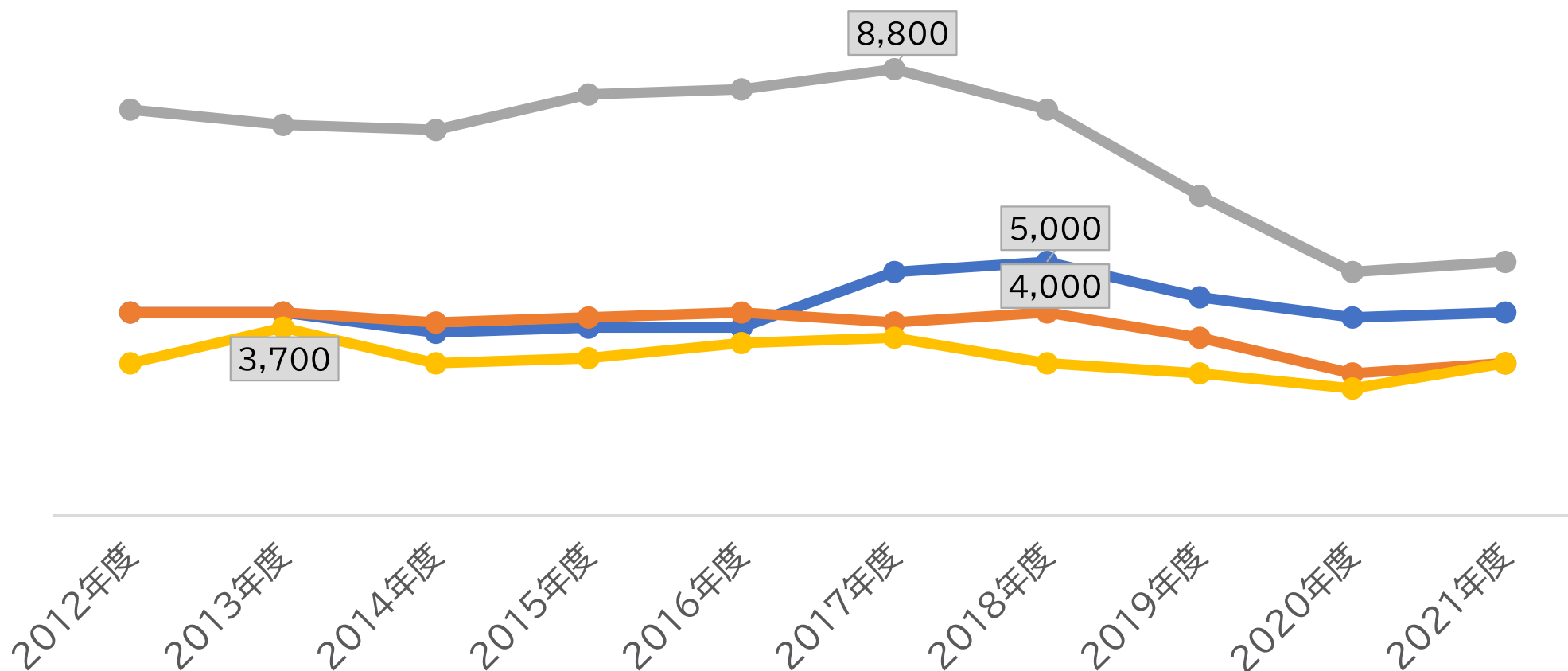


1. 2023年3月期 第2Q決算概要
2. 2023年3月期 通期業績予想
- 3. 2023年3月期 事業活動**
4. 中期経営計画の進捗

- 建築塗装工事の市場は、約80%を塗り替え(改修)が占めている。
- 低層住宅塗り替えは、今後の成長市場として異業種からの参入が増加。
- マンション大規模修繕は、春・秋シーズンマーケットとして安定推移。
- 非住宅塗り替えは、社会動向の影響を受け易く不安定な市場。
- 新設は、減少傾向ではあるが横ばいで推移。

● 低層住宅塗り替え ● マンション大規模修繕 ● 非住宅塗り替え ● 新設

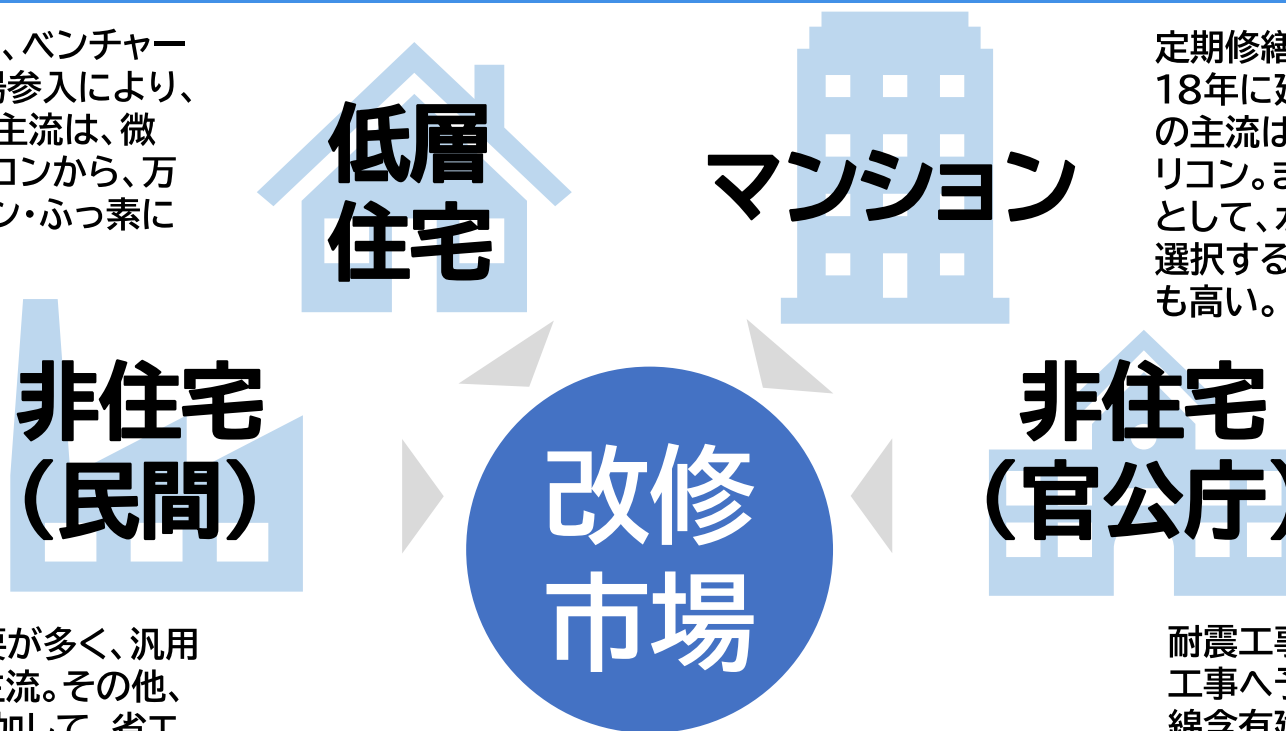
(単位:億円)



- コロナ禍の影響で、遅延・停滞していた改修現場が本格始動。
- 環境配慮、長寿命化、インフラ整備、ランニングコストを意識したニーズが増加。

既存メーカー以外に、ベンチャー企業や量販店の市場参入により、競争が激化。施工の主流は、微弾性フィラー+シリコンから、万能シーラー+シリコン・ふっ素に移行しつつあり。

定期修繕の周期が、12年から18年に延長の兆しあり。施工の主流は、微弾性フィラー+シリコン。また、居住者への配慮として、水系、ローラー工法を選択する意識が住宅現場よりも高い。



施設の維持修繕需要が多く、汎用製品による施工が主流。その他、遮熱・断熱機能を付加して、省エネ効果や労働環境改善に向けた投資の需要もあります。

耐震工事から、長寿命化対策工事へ予算が移行。また、石綿含有建築用仕上塗材対策として剥離剤需要が増加。施工の主流は、弾性・微弾性による防水・追従性・中性化・塩害対策などの機能性付加が期待されています。

2021年市場規模:1.2兆円	
住宅	4,000億円
マンション	3,000億円
非住宅	5,000億円

## ➤ 環境に配慮した製品

##### 建物や構造物の**長寿命化**、及び**インフラ整備**の一翼を担う活動を展開 #####

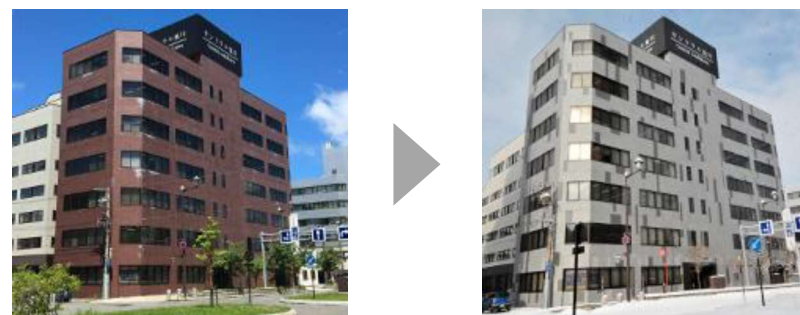
### 「キクスイSA工法」

打放しコンクリートの汚れ・ひび割れ・欠損など、質感・意匠性の低下あきらめてませんか？この工法は、質感・意匠性が低下した打放しコンクリートを、新築当時の**キレイな質感・意匠性に復元**することがきます。また、シリコン・ふっ素から選択できる水系クリヤーで、表面の保護をすることで、**キレイな質感・意匠性**を長期維持します。



### 「モダンアートストーン」

**磁器質タイルの剥落抑制**には、シート状装飾材のこの製品をおすすめします。御影／砂岩調のシートを重ね貼りすることで、磁器質タイルの剥落を抑制することができます。また、磁器質タイルの意匠性を損ねることなく、高級感あふれる御影／砂岩調の仕上げで資産価値を向上!!



### 「塗膜除去システム」

このシステムでは、健康障害で問題となった石綿(アスベスト)や、有害物質とされるPCB・鉛・クロム含有の有機塗膜除去に有効な製品・工法・工事など、仕上材製造メーカーとしてのノウハウを活かし、**確立した安全な環境対策と技術工法**をご提案します。





## ➤ 完成した塗膜の提供

##### 建物や構造物の**長寿命化**、及び**インフラ整備**の一翼を担う活動を展開 #####

ニーズにマッチした事業に、施工を伴う完成した塗膜の提供があります。



製品



施工



完成塗膜

責任施工の詳細はコチラ



## ➤ 海外事業

海外事業は、2021年12月13日「中国事業の見直しに関するお知らせ」を公表。2022年2月10日「業績予想の修正並びに特別損失(子会社の固定資産の減損損失(連結))の計上及び子会社株式評価損等(個別)に関するお知らせ」を公表。2022年3月22日「連結子会社の事業移管及び清算に関するお知らせ」を公表。その他、経過については、確定次第、速やかに適時開示してまいります。

※当社グループは、単一セグメントであるため、セグメント別情報の記載を省略しております。 17

## ➤ SDGsの推進

##### 地域の未来を創造することに貢献し、持続可能な社会の実現をめざします #####

### 安心して働ける環境づくり

- ・子育て支援
- ・雇用制度の見直し
- ・人材育成の強化
- ・女性管理職登用の促進
- ・健康診断受診の促進
- ・有給取得の推進



様々な認定程度に登録されています。

### 製品を通じた街づくり

- ・水系製品の製造、販売の促進
- ・高耐候性製品の開発
- ・再生可能エネルギーへの切替え
- ・製造時の洗浄廃水の削減



各務原工場に太陽光パネルを設置しました。

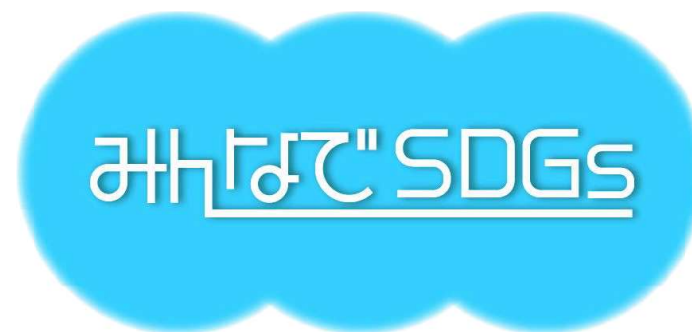


### ガバナンスの強化と充実

- ・コーポレートガバナンスの強化
- ・社外役員3分の1以上体制
- ・企業情報の適時開示
- ・キャリア教育への貢献



キャリア教育の一環として、小・中学生向け副読本に会社紹介を掲載しました。



当社の取り組みはコチラ

1. 2023年3月期 第2Q決算概要
2. 2023年3月期 通期業績予想
3. 2023年3月期 事業活動
- 4. 中期経営計画の進捗**

## 【基本方針】



環境共生時代にふさわしいものづくり

住環境における建物や構造物の長寿命化対策の市場に対して、水系・無機にこだわった製品の開発・製造・販売・工事で、下地から仕上げまでの多種多様な需要にチャレンジすることで、持続可能な社会に貢献する。

## 【重点施策】

### 収益基盤の構築

経営資源を集約し、生産性と製品競争力の向上を図る。

### 環境と健康に裨領した製品の普及・拡大

水系・無機の製品を中心とした開発・製造・販売に努め、有害物質含有及び排出物の低減を図る。

### 環境を意識したサプライチェーン

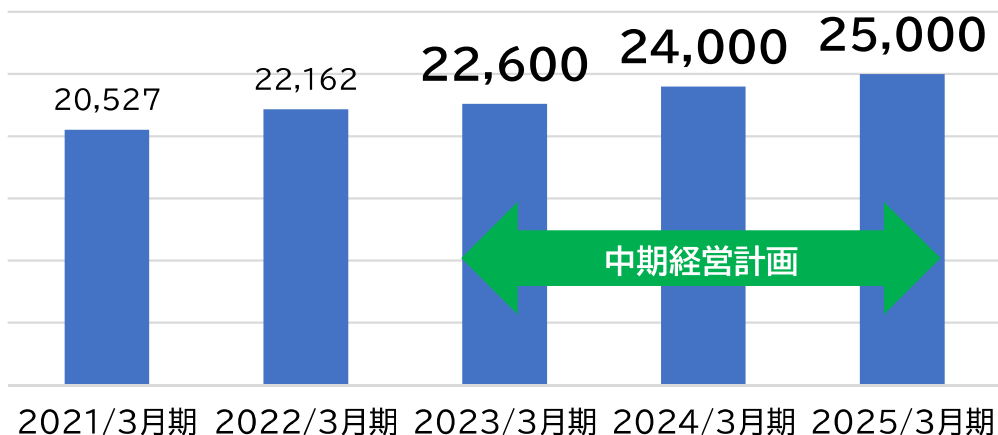
水系・無機の製品を中心とした開発・製造・販売に努め、有害物質含有及び排出物の低減を図る。

### 働き方改革の加速

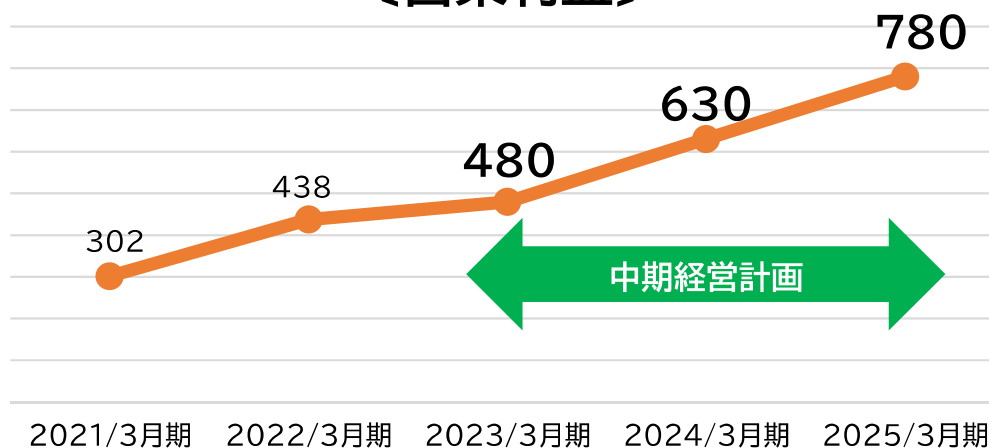
働く人々が、健康でいきいきと活動できる環境への整備。

- 改修市場での活動に注力し2025年3月期の連結売上高250億円をめざす。
- 経営資源を集約し生産性と製品競争力の向上を図り収益を改善。

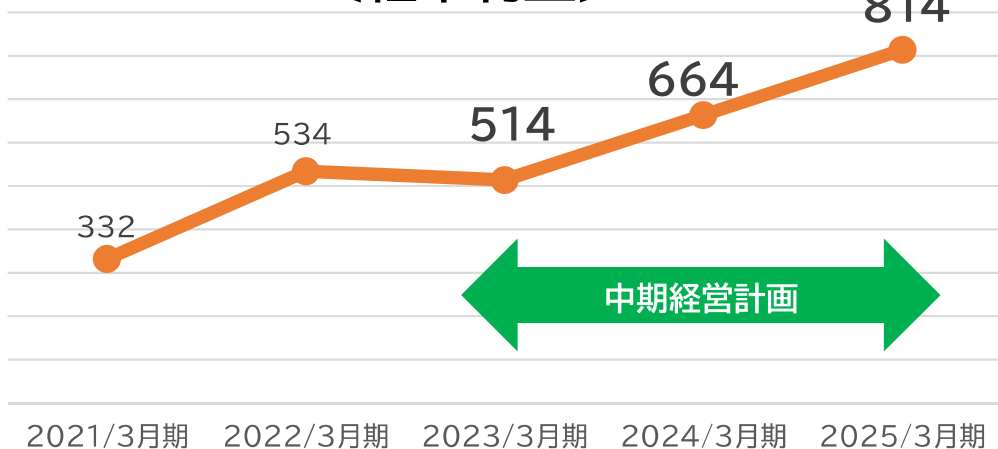
## 〔売上高〕



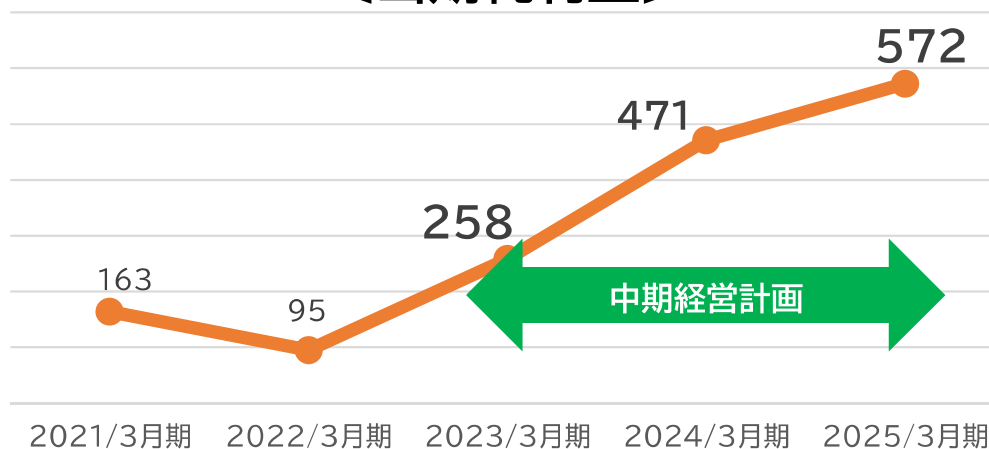
## 〔営業利益〕



## 〔経常利益〕



## 〔当期純利益〕



# ※会社紹介

## 名古屋証券取引所

メイン市場

## 東京証券取引所

スタンダード市場

●本社：名古屋市中区栄一丁目3番3号

●創業：1959年5月21日(昭和34年)

●資本金：19億7,273万円

●従業員数：470名(2022年3月末)

●事業内容：

塗料および塗材の製造、加工ならび販売

土木用および建築用等の化学工業品の販売

土木材料および建築材料の製造、販売ならびに施工

## 《沿革》

1959年5月	遠山昌夫が名古屋市で菊水商事創業
1963年6月	菊水化学工業(株)に社名変更
1969年5月	愛知県犬山市に犬山工場を建設
1973年1月	福岡県粕屋郡に福岡工場を建設
1976年11月	JISA6909の取得を開始
1977年9月	茨城県古河市に茨城工場を建設
1988年11月	名古屋証券取引所二部に上場
1991年2月	岐阜県各務原市に技術開発施設移転
1999年3月	ISO9001を取得
2004年4月	菊水化工(上海)有限公司を設立
2005年3月	住宅事業本部を新設。全国展開を開始
2010年1月	日本スタッコを子会社化
2014年12月	東京証券取引所二部に上場
2015年4月	菊水香港有限公司を設立
2016年1月	菊水建材科技(常熟)有限公司を設立
	台湾菊水股份有限公司を設立
2017年5月	中国江蘇省常熟市で工場を開業
2017年7月	愛知県瀬戸市に東海工場を建設
2018年1月	犬山工場を全面改築
2020年6月	茨城工場に溶剤調色工場を増築
2022年7月	本社移転



## kikusuiグループ

### 【国内】

#### ▶菊水化学工業(株)

本社

工場[6拠点]

建材塗料事業本部

[3支店13営業所・出張所]

[日本スタッコ営業部]

[海外部]

[市場開発部]

[工業用塗料部]

住宅事業本部

[2営業部14営業所]

### 【国内グループ会社】

#### ▶(株)ツアーール

### 【海外グループ会社】

#### ▶菊水化工(上海)有限公司

#### ▶菊水香港有限公司

#### ▶菊水建材科技(常熟)有限公司

#### ▶台湾菊水股份有限公司

※2022年3月末時点

### 《お知らせ》

2022年7月19日

弊社は、本社機能の充実及び業務の効率化、生産性の向上を図ることを目的に、本社を移転いたしました。





本資料に記載されている将来の目標、予測、戦略に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績は、今後の様々な要因により、これらの業績予測とは大きく異なる可能性がある事をご承知おき下さい。

本資料及び当社のIRに関するお問い合わせ先

菊水化学工業株式会社 管理本部

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄一丁目3-3

[TEL:052-300-2222](tel:052-300-2222)(代)



菊水化学工業株式会社

<https://www.kikusui-chem.co.jp/>

